

38号車「KeePer CERUMO GR Supra」

**苦しいすべり出しではあったものの、決勝までしっかりとリカバリーして5位フィニッシュ。貴重なポイントを得て、2戦連続の入賞を果たす！**

予選10番手で迎えた決勝。気温23℃/路面温度41℃というコンディションのもとレースが始まった。スタートドライバーを務めたのは、大湯都史樹選手。ウォームアップ走行でフィーリングを確認し、前日まで悩まされていたオーバーステアが解消しつつある手ごたえを得ていた大湯選手は、抜群のスタートを決めオープニングラップで7番手に浮上する。

今回は、SUPER GTでは初となる3時間レース。39周まで燃費を気にかけてながら安定したペースで戦ってきた大湯選手を呼び戻し、一度目のピットインを行うと、石浦宏明選手にドライバー交代。このとき給油にやや時間を要してしまい、石浦選手がコースに戻ってみると10番手。石浦選手はまず、#100 CIVIC TYPE-R GTにかわされ9番手にポジションを落としていた#37 GR Supraに近づくと、48周目のダンロップコーナーでこれをオーバーテイク。55周が近づくとふたたび#100を射程圏内に収めていった。72周目が近づくと、石浦選手は#100とテールトゥ・ノーズの状態となり、接近戦を展開する。ただ#100はストレートスピードが速く、膠着した戦いがステイントの終盤まで展開されていくことになった。79周を終え石浦選手を呼び戻し、ふたたび大湯選手にステアリングを託した。チーム丸のピットワークにより、大湯選手はピットアウトすると#100を逆転。7番手をしっかりと守ると、6番手を走る#12 Z NISMO GT500とのギャップを縮めていった。

大湯選手は98周目、#12を追いつめると、TGRコーナーからココア・コーラ・コーナーへの攻防でこれをオーバーテイクし6番手に浮上する。その後#36 GR Supraを追っていたが、116周目、3番手を走っていた#8 CIVIC TYPE-R GTがトラブルにより戦線離脱。5番手に浮上し、そのままフィニッシュ。10番手から追い上げ、5位でレースを終えることになった。苦しいすべり出しではあったものの、決勝までしっかりとリカバリーする強さをみせ、2戦連続の入賞を果たした。



61号車「SUBARU BRZ R&D SPORT」

**レース終盤、燃料切れのアラートが点灯、まさかのエンジン停止。15位完走フィニッシュ。**

8番手で迎えた決勝レース。スタートドライバーは山内英輝選手、ラストは井口卓人選手が担当するという作戦で挑む。山内選手はオープニングラップで1台を抜き去り、ポジションを1つ上げてストレートに戻る。その後、22周目にもライバルマシンを抜き6位浮上。34周目にピットイン。最初のピットインでは満タンにし、タイヤも4本交換を行うチームが多いため、コースに戻った時は15位、ピットに入っていないマシンを除くと7位でコースに戻り、68周目に4位で井口選手にバトンを渡す。



しかし2回目のピットでは燃費の良いマシンやタイヤ無交換というチームもあり、ピット作業時間に差が出て、井口選手は8番手でコースに戻るが7位に上がり順位をキープ。レース終盤、残り10分ほどになると燃料切れのアラートが点灯。緊急ピットインをし、少しでも給油してすぐにコースに戻るが、燃料切れのアラートは消えずエンジンが停止。チェッカーを受けられずにフィニッシュ。15位完走となった。

100号車「STANLEY CIVIC TYPE R-GT」

**苦戦を強いられながらも粘りの力走で7位フィニッシュ。見直しをはかり、第3戦鈴鹿に挑む！！**

決勝。スタートドライバー山本尚貴選手は予選順位の6番手のまま周回を重ねていく。開始25分で早速フルコーススイエロー (FCY) が導入されることになったが、FCY解除を機に、後続の#38 GR Supra、さらに#36 GR Supraとの攻防戦となり、惜しくも先行を許してしまっ。ルーティンのピットワークは35周終了時、山本選手がダブルステイントを担当する。しかしながら、全GT500クラスが最初のピットインを済ませた時点で9番手へと浮上。すぐさま反撃に打って出て、45周目には8番手へと浮上。



75周終わりで2回目のピットインを実施。山本選手から牧野任祐選手へとドライバー交代する。早速目前の#16 CIVIC TYPE R-GTを逆転して8位に。さらには#38号車の背後に迫る。最終盤、3番手を走る車両がトラブルでピットイン。これにより7位に浮上し、チェッカーが迫るなかでも力走を続けて3時間の長い戦いを終えた。

SUPER GT 2024シリーズ スケジュール

Rd.	日程	会場
Rd.3	6/1(土)2(日)	鈴鹿サーキット(三重県)
Rd.4	8/3(土)4(日)	富士スピードウェイ(静岡県)
Rd.5	8/31(土)9/1(日)	鈴鹿サーキット(三重県)
Rd.6	9/21(土)22(日)	スポーツランドSUGO(宮城県)
Rd.7	10/19(土)20(日)	オートポリス(大分県)
Rd.8	11/2(土)3(日)	モビリティリゾートもてぎ(栃木県)

2024シリーズは「CERUMO」とタッグを組み、クルマ好きユーザー層に対してKeePerのブランドイメージをより深く訴求していくとともに、日本国中のキーパープロショップ、キーパー施工店を応援すべく、フルカラーのKeePer号でスーパーGT 2024シリーズに挑みます！皆様、応援よろしくお祈りします！！



GT車両がツルツルに！3台のマシンにキーパーコーティングを施工！

岡山戦を控えた某日。スポンサーだしている3チームのマシンにキーパーコーティングを施工してきました！38号車、61号車はそれぞれのファクトリーにて、100号車は岡山国際サーキットのピット内で施工をさせていただきました。キーパーコーティングは柔軟な性質を持っているのでステッカーが貼られたGTのマシンにも施工ができます。施工後はツヤツヤになったマシンを見てメカニックの方の皆さんも驚かれていました。KeePerはこのようにSUPER GTを通して、車好きユーザー層に対して、KeePerのブランドイメージをより深く訴求していきます。施工の様子はKeePer公式YouTubeチャンネルで公開しています！こちらもぜひご覧ください！

38号車に施工



100号車施工



61号車施工



2年ぶりに復活！今年のKeePer Angelsをご紹介します！

メインスポンサー復活に伴い、KeePer Angelsも2年ぶりに復活をしました。務めるのは、佐々木美乃里さんと友野ゆみさん。

先月の岡山戦では新コスチュームをお披露目。これまでのコスチュームはスポーティーなデザインのものが多かった中、今年はボンチョとフリルスカートを含めたかわいらしいデザインになっています。皆さんと一緒に38号車を盛り上げていきます！



**佐々木 美乃里さん**  
出身：岐阜県  
趣味：旅行、美容研究、お笑い  
特技：バスケ、バトミントン、書道

今シーズン1年ぶりにKeePerフルカラーが復活！新体制となった38号車、新生CERUMOの勝利の女神となれるよう、KeePerコーティングのようなピカピカな笑顔でチームの応援やPRに努めて参ります！そして、モータースポーツ全体も盛り上げていけるよう一杯頑張ります！！よろしくお願いいたします！



**友野 ゆみさん**  
出身：茨城県  
趣味：ポーカー、お菓子作り  
特技：金魚すくい、笹笛

KeePer Angelsの友野ゆみです！KeePerメインスポンサー復活の大切な年に、KeePer Angelsになることが出来とても嬉しいです！38号車 TGR TEAM KeePer CERUMOの勝利のため、一生懸命応援させていただきます。1年間よろしくお願いいたします！

